

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 317 号	氏名	門田 耕一郎
学位審査委員	主査 青柳 潔 副査 篠原 一之 副査 佐々木 均		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、喫煙者における禁煙後の胃排出能の変化について前向きに検討したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 流動食を用いた <math>^{13}\text{C}</math> アセテート呼気試験法により胃排出能を測定し、体重・BMI・食欲 VAS (Visual Analogue scale) および胃排出能を禁煙治療開始前、治療終了 1 週間後と 9 週間後で、適切な統計学的解析法を用い解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、禁煙治療終了 1 週間後に胃排出能が一時的に更新した同時期に有意に食欲および体重が増加した。喫煙にて抑制されていた胃排出能が禁煙により亢進し、食欲および体重の増加に関連している可能性を明らかにし、今後の禁煙後の胃排出能研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は臨床消化器科学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			